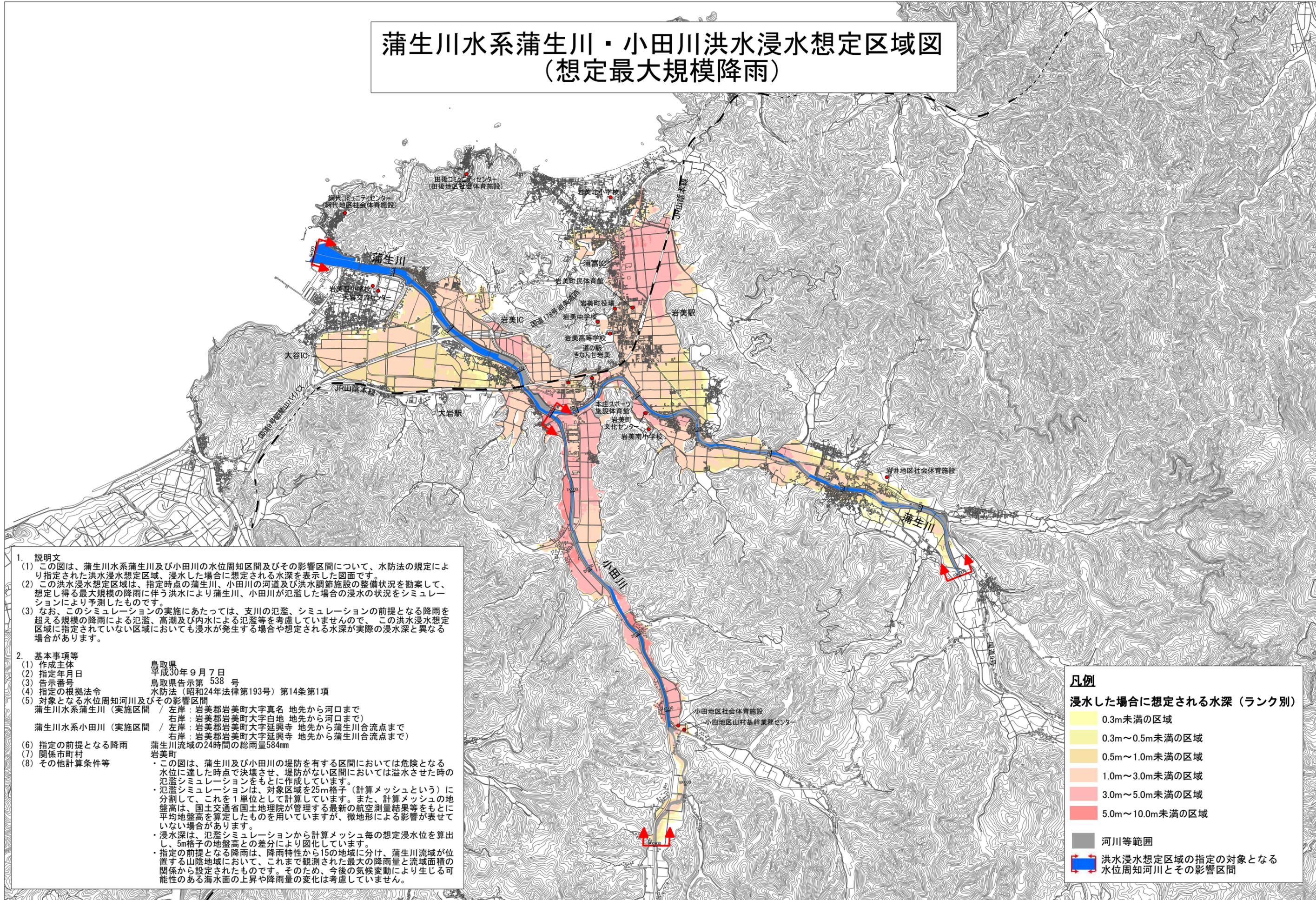


蒲生川水系蒲生川・小田川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)



1. 説明文

(1) この図は、蒲生川水系蒲生川及び小田川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の蒲生川、小田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により蒲生川、小田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 鳥取県

(2) 指定年月日 平成30年9月7日

(3) 告示番号 鳥取県告示第538号

(4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項

(5) 対象となる水位周知河川及びその影響区間
 蒲生川水系蒲生川(実施区間) / 左岸: 岩美郡岩美町大字真名 地先から河口まで
 右岸: 岩美郡岩美町大字白地 地先から河口まで
 蒲生川水系小田川(実施区間) / 左岸: 岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
 右岸: 岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで

(6) 指定の前提となる降雨 蒲生川流域の24時間の総雨量584mm

(7) 関係市町村 岩美町

(8) その他計算条件等

- この図は、蒲生川及び小田川の堤防を有する区間においては危険となる水位に達した時点で決壊させ、堤防がない区間においては溢水させた時の氾濫シミュレーションをもとに作成しています。
- 氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをを用いていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
- 浸水深は、氾濫シミュレーションから計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、5m格子の地盤高との差分により図化しています。
- 指定の前提となる降雨は、降雨特性から15の地域に分け、蒲生川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

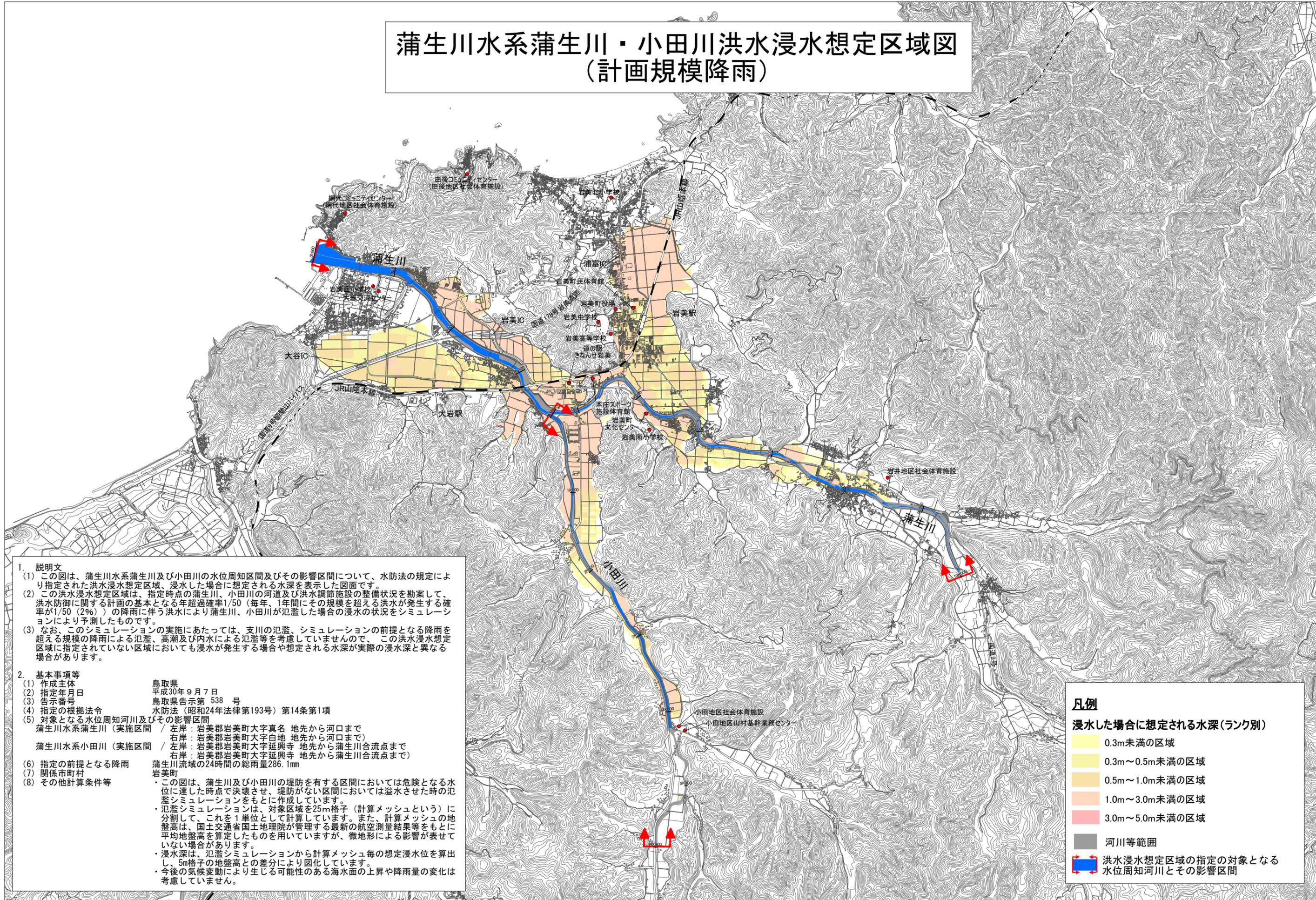
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m~0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



この図面は、岩美町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画平面図を使用し、複製したものである。(承認番号)第201810455号
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号)平29情使、第1376号

蒲生川水系蒲生川・小田川洪水浸水想定区域図 (計画規模降雨)



1. 説明文

(1) この図は、蒲生川水系蒲生川及び小田川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の蒲生川、小田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により蒲生川、小田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体	鳥取県
(2) 指定年月日	平成30年9月7日
(3) 告示番号	鳥取県告示第 538 号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
(5) 対象となる水位周知河川及びその影響区間	蒲生川水系蒲生川（実施区間 / 左岸：岩美郡岩美町大字真名 地先から河口まで 右岸：岩美郡岩美町大字白地 地先から河口まで 蒲生川水系小田川（実施区間 / 左岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで 右岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで）
(6) 指定の前提となる降雨	蒲生川流域の24時間の総雨量286.1mm
(7) 関係市町村	岩美町
(8) その他計算条件等	<ul style="list-style-type: none"> この図は、蒲生川及び小田川の堤防を有する区間においては危険となる水位に達した時点で決壊させ、堤防がない区間においては溢水させた時の氾濫シミュレーションをもとに作成しています。 氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。 浸水深は、氾濫シミュレーションから計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、5m格子の地盤高との差分により図化しています。 今後の気候変動により生じる可能性のある海水面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

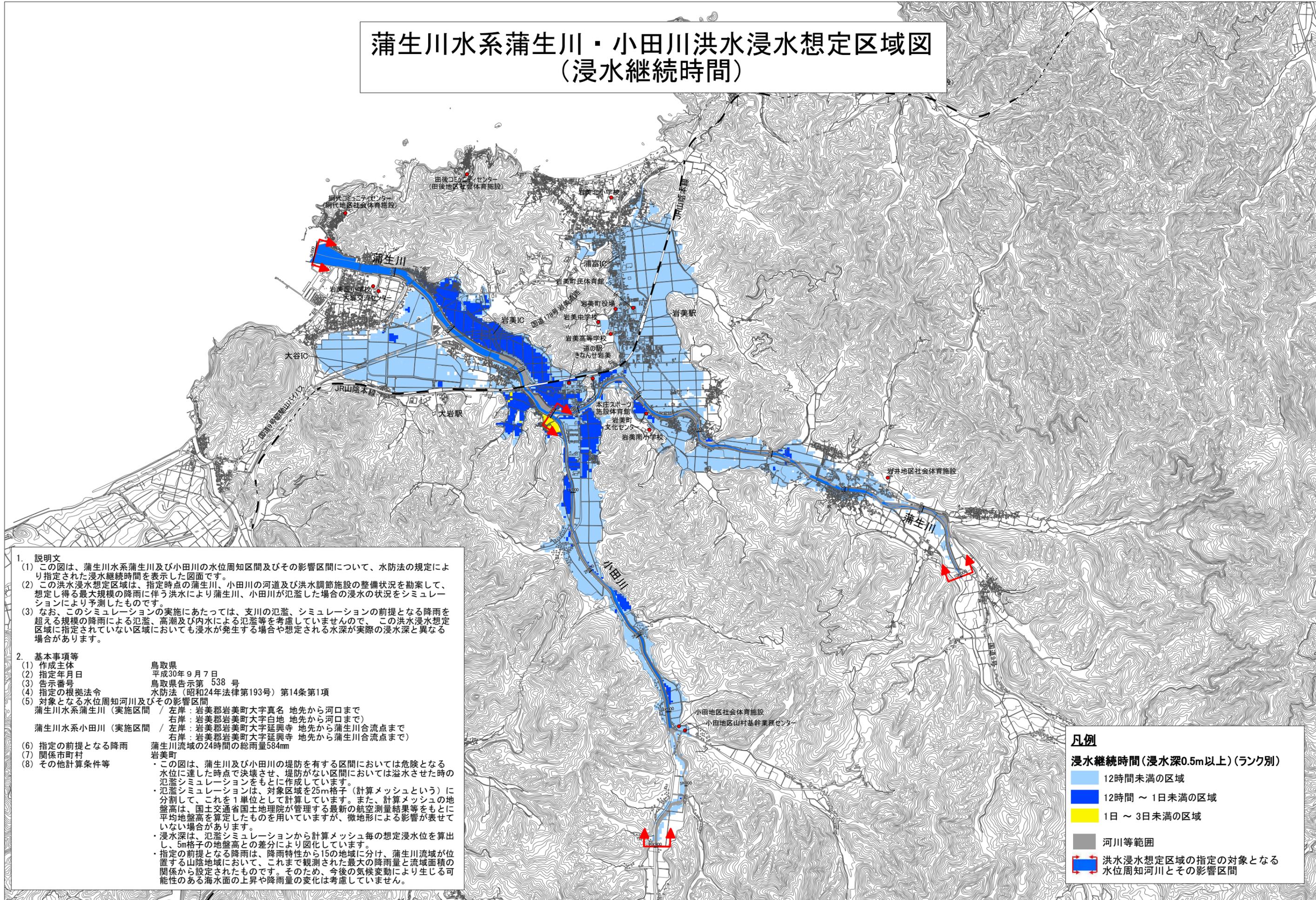
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



この図面は、岩美町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画平面図を使用し、複製したものである。(承認番号)第201810455号
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号)平29情使、第1376号

蒲生川水系蒲生川・小田川洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



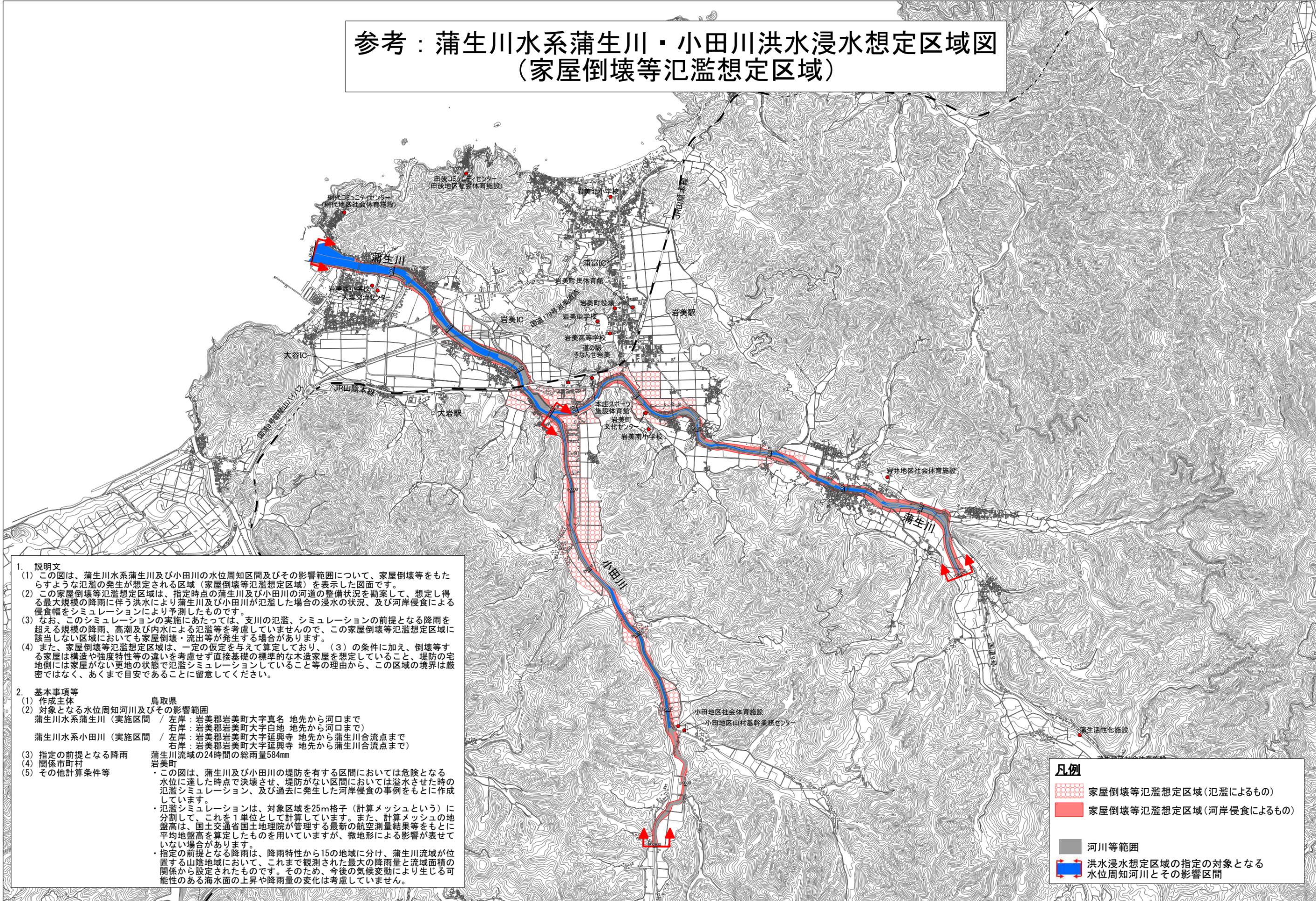
1. 説明文
- (1) この図は、蒲生川水系蒲生川及び小田川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の蒲生川、小田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により蒲生川、小田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- | | |
|-------------------------|---|
| (1) 作成主体 | 鳥取県 |
| (2) 指定年月日 | 平成30年9月7日 |
| (3) 告示番号 | 鳥取県告示第 538 号 |
| (4) 指定の根拠法令 | 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項 |
| (5) 対象となる水位周知河川及びその影響区間 | 蒲生川水系蒲生川（実施区間 / 左岸：岩美郡岩美町大字真名 地先から河口まで
右岸：岩美郡岩美町大字白地 地先から河口まで）
蒲生川水系小田川（実施区間 / 左岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
右岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで） |
| (6) 指定の前提となる降雨 | 蒲生川流域の24時間の総雨量584mm |
| (7) 関係市町村 | 岩美町 |
| (8) その他計算条件等 | <ul style="list-style-type: none"> この図は、蒲生川及び小田川の堤防を有する区間においては危険となる水位に達した時点で決壊させ、堤防がない区間においては溢水させた時の氾濫シミュレーションをもとに作成しています。 氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。 浸水深は、氾濫シミュレーションから計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、5m格子の地盤高との差分により図化しています。 指定の前提となる降雨は、降雨特性から15の地域に分け、蒲生川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。 |

- 凡例
- 浸水継続時間（浸水深0.5m以上）（ランク別）
- 12時間未満の区域
 - 12時間～1日未満の区域
 - 1日～3日未満の区域
 - 河川等範囲
 - 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間

0 500 1,000 2,000m

この図面は、岩美町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画平面図を使用し、複製したものである。（承認番号）第201810455号
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号）平29情使、第1376号

参考：蒲生川水系蒲生川・小田川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域)



- 1. 説明文**
- (1) この図は、蒲生川水系蒲生川及び小田川の水位周知区間及びその影響範囲について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の蒲生川及び小田川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により蒲生川及び小田川が氾濫した場合の浸水の状況、及び河岸侵食による侵食幅をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は構造や強度特性等の違いを考慮せず直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫シミュレーションしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2. 基本事項等**
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 対象となる水位周知河川及びその影響範囲
 蒲生川水系蒲生川（実施区間） / 左岸：岩美郡岩美町大字真名 地先から河口まで
 / 右岸：岩美郡岩美町大字白地 地先から河口まで
 蒲生川水系小田川（実施区間） / 左岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
 / 右岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
 - (3) 指定の前提となる降雨 蒲生川流域の24時間の総雨量584mm
 - (4) 関係市町村 岩美町
 - (5) その他計算条件等
 - ・この図は、蒲生川及び小田川の堤防を有する区間においては危険となる水位に達した時点で決壊させ、堤防がない区間においては溢水させた時の氾濫シミュレーション、及び過去に発生した河岸侵食の事例をもとに作成しています。
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、降雨特性から15の地域に分け、蒲生川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

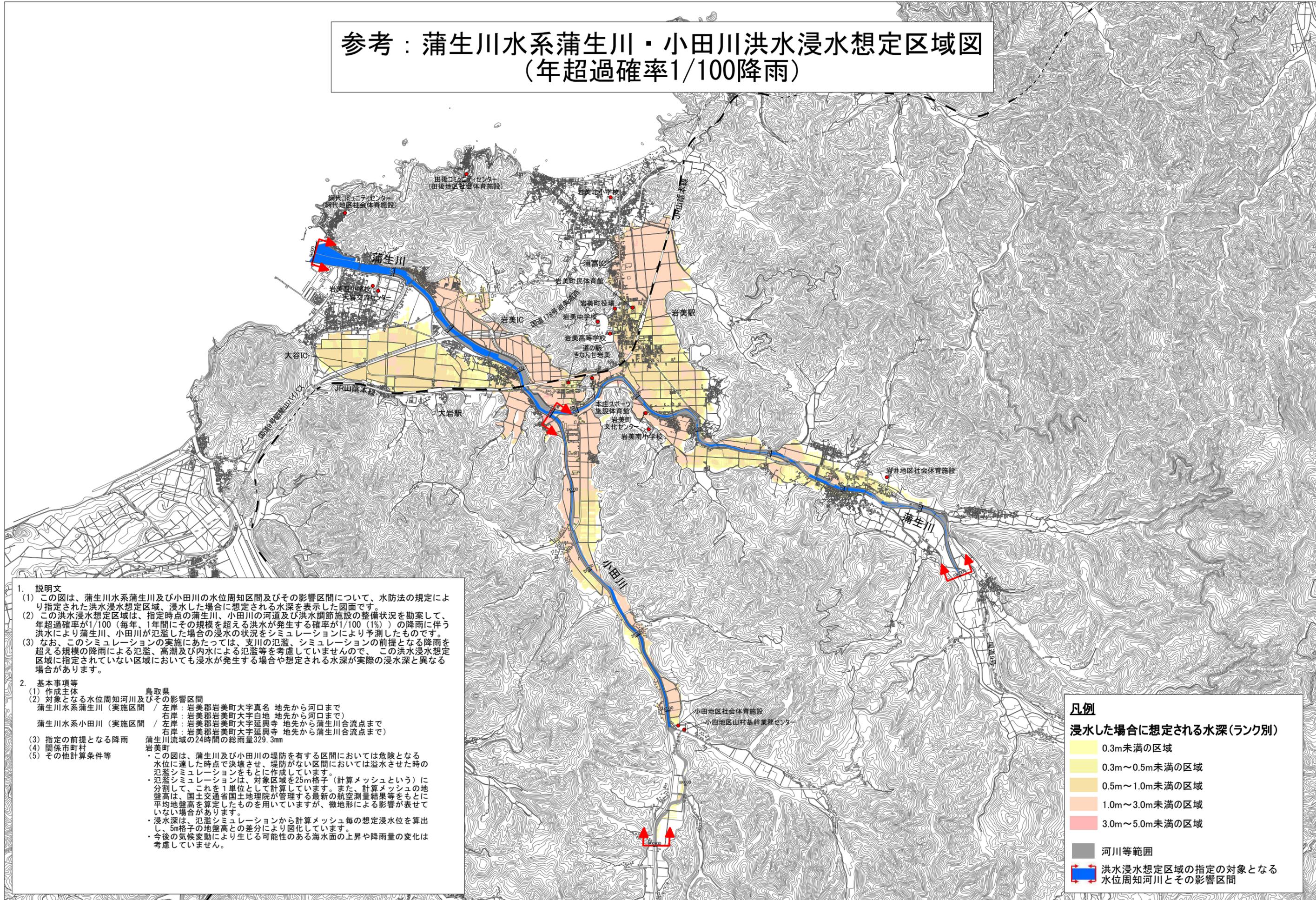
凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫によるもの)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食によるもの)
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間

0 500 1,000 2,000m

この図面は、岩美町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画平面図を使用し、複製したものである。(承認番号)第201810455号
 この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号)平29情使、第1376号

参考：蒲生川水系蒲生川・小田川洪水浸水想定区域図 (年超過確率1/100降雨)



1. 説明文
 - (1) この図は、蒲生川水系蒲生川及び小田川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の蒲生川、小田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率が1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により蒲生川、小田川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等
 - (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 対象となる水位周知河川及びその影響区間
 - 蒲生川水系蒲生川（実施区間） / 左岸：岩美郡岩美町大字真名 地先から河口まで
右岸：岩美郡岩美町大字白地 地先から河口まで
 - 蒲生川水系小田川（実施区間） / 左岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
右岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
 - (3) 指定の前提となる降雨 蒲生川流域の24時間の総雨量329.3mm
 - (4) 関係市町村 岩美町
 - (5) その他計算条件等
 - この図は、蒲生川及び小田川の堤防を有する区間においては危険となる水位に達した時点で決壊させ、堤防がない区間においては溢水させた時の氾濫シミュレーションをもとに作成しています。
 - 氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - 浸水深は、氾濫シミュレーションから計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、5m格子の地盤高との差分により図化しています。
 - 今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

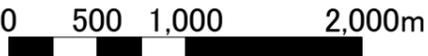
凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域

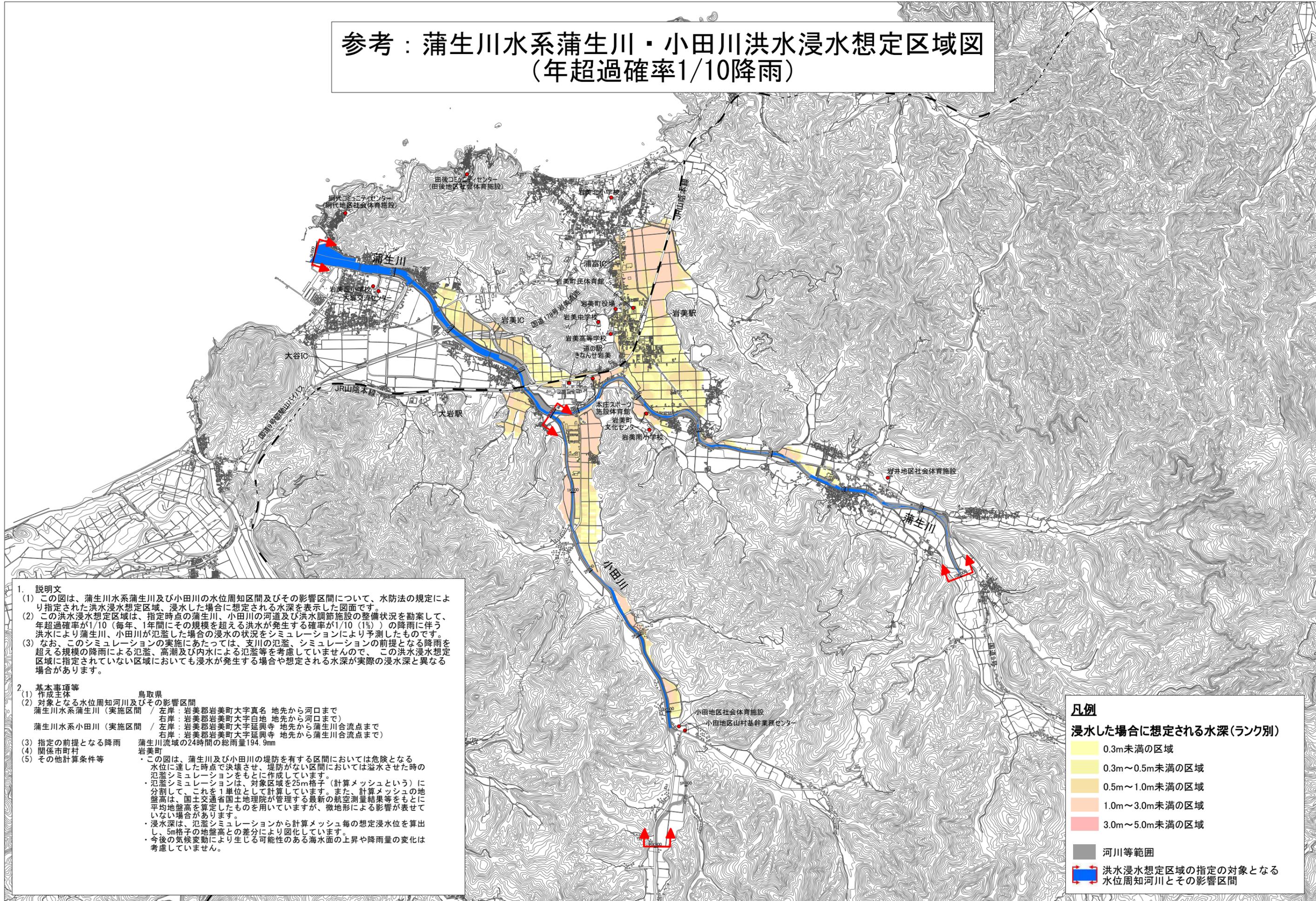
河川等範囲

洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間



この図面は、岩美町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画平面図を使用し、複製したものである。（承認番号）第201810455号
この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号）平29情使、第1376号

参考：蒲生川水系蒲生川・小田川洪水浸水想定区域図 (年超過確率1/10降雨)



1. 説明文
 (1) この図は、蒲生川水系蒲生川及び小田川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の蒲生川、小田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率が1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(1%))の降雨に伴う洪水により蒲生川、小田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 作成主体 鳥取県
 (2) 対象となる水位周知河川及びその影響区間
 蒲生川水系蒲生川(実施区間) / 左岸：岩美郡岩美町大字真名 地先から河口まで
 右岸：岩美郡岩美町大字白地 地先から河口まで
 蒲生川水系小田川(実施区間) / 左岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
 右岸：岩美郡岩美町大字延興寺 地先から蒲生川合流点まで
 (3) 指定の前提となる降雨 蒲生川流域の24時間の総雨量194.9mm
 (4) 関係市町村 岩美町
 (5) その他計算条件等
 ・この図は、蒲生川及び小田川の堤防を有する区間においては危険となる水位に達した時点で決壊させ、堤防がない区間においては溢水させた時の氾濫シミュレーションをもとに作成しています。
 ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 ・浸水深は、氾濫シミュレーションから計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、5m格子の地盤高との差分により図化しています。
 ・今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域

河川等範囲

洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川とその影響区間

0 500 1,000 2,000m

この図面は、岩美町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画平面図を使用し、複製したものである。(承認番号)第201810455号
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号)平29情使、第1376号